

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 210

事務事業名	高齢者地域ネットワーク事業
-------	---------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	長寿介護課		
課長名	山下 志朗	内線	89-200
担当者名	城代 文香	内線	89-203

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020201	高齢者が暮らしやすいまちづくり
施策		地域包括ケアシステムの推進体制の確立
関連施策		

会計	介護保険事業特別会計		
款	3	地域支援事業費	
項	3	包括的支援事業・任意事業費	
目	4	任意事業費	
事業コード	040100	高齢者地域ネットワーク事業費	

事業類型	1	ソフト事業(義務)
個別計画	大村市高齢者保健福祉計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか 高齢者及び高齢者に関わる地域住民		
意図	対象をどのような状態にしたいか 高齢者の日常生活を取り巻く様々な問題に対し、地域住民や組織・団体等の多様な社会資源が協働して、解決にあたることにより、高齢者が地域で安心して生活できるようにする。		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か (1)生活支援コーディネーターの配置 高齢者に関する諸問題の課題に対し、地域の住民や関係団体との連携を図り、地域の特性に合った解決に向けた社会資源を開発するため、各中学校区に生活支援コーディネーターを配置する。 (2)地域ケア圏域会議の開催 大村市と生活支援コーディネーターが中心となり、地域の高齢者の生活支援等の社会資源を開発するために、各中学圏域において、医療・介護・福祉等の関係団体や地域住民(町内会・老人クラブ等)による地域ケア圏域会議を開催する。		
事業期間	28 年度 ~ 平成 37 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	介護保険法		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 生活支援コーディネータの人数	計画値				6	
		実績値					
	達成度	%					
	②	計画値					
実績値							
成果指標	① 地域ケア圏域会議の開催回数	計画値				24	
		実績値					
	達成度	%					
	②	計画値					
実績値							
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	0	0	3,000	2,612	2,612	2,612	0
国庫支出金				1,170	1,019	1,019	1,019	
県支出金				585	509	509	509	
地方債								
その他								
一般財源				1,245	1,084	1,084	1,084	
② 人件費(千円)	0	0	0	1,014	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)				0.09	地域ケア圏域会議の開催	地域ケア圏域会議の開催	地域ケア圏域会議の開催	
時間外勤務(時間)				180				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	0	0	0	4,014				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	地域ケア圏域会議の開催方法等について、地域ケア会議(実務者会議)において、検討中である。
事業が抱える問題・課題等	地域ケア圏域会議の実施方法等について、市の考えと地域ケア会議(実務者会議)委員の考えに相違があったため、協議を継続し、方向性を決定する必要がある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

市全体の高齢者施策を検討する本事業の性質上、委託ではなく、直営で実施する必要がある。

※事業類型が1~3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性
  現状維持

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	地域ケア圏域会議の開催方法等について、関係者と検討し、方向性を決定する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	地域ケア圏域会議体制が確立し、地域の実情に合った社会資源の開発や課題解決につながる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。